

たちあがれ敦賀!! レポート

敦賀市議会議員

ほりい 哲郎



— ご挨拶 —

いつも大変お世話になっており誠にありがとうございます。多くの皆様からご付託を頂き、敦賀市議会議員にならせて頂きましてから約3年が経ちました。その間、賜りましたご期待に応えられているだろうか、考えながら行動する日々でありました。自分なりに全力を尽くしてきましたが、まだまだ至らないところが多く、選挙前のお約束を守れていない点があることも自覚しております。私の力不足です。誠に申し訳ございません。

しかしながら、この3年間敦賀を想う気持ちは日々熱く高まっており、なんとかしてこの美しい敦賀市を更に改善して、次の世代に繋げて行ける仕事をしたいと強く思っております。未熟、若輩でございますが、今後とも皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りたく宜しく申し上げます。

3年間の主な取り組み

▶ 敦賀湾（特に東浦地区の海岸）漂着ゴミ問題

近年、敦賀湾への大陸から流れてくる漂着ゴミは年々増えている状況であり、海岸線に住まわれている方々の社会奉仕清掃活動では、限界に達している状況にあります。また、海岸線の管理者は福井県という事もあり、地元地域の方々も、度々敦賀市に漂着ゴミの清掃・処理の支援を要望してきましたが、実現が難しい状況でありました。

そのような中、地域の区長様より地域の高齢化も進んでおり、且つ年々増加する漂着ゴミに対して、地元の奉仕活動だけでは漂着ゴミを清掃・処理していくのは大変苦しいとの切実なご相談を平成28年度1月に受けました。翌月より調査を開始し、現場視察や市担当課からの状況確認、また近隣の自治体の漂着ゴミへの対処方法、管理者である県土木・港湾事務所への状況確認を行いました。

その結果、県（安全環境部）の予算の中に「海岸漂着物地域対策推進事業費」というのが分かることになり、近隣自治体もこれを大いに活用して漂着ゴミ対策を実施していることがわかりました。またこの事業費については県予算である為、敦賀市が前年度より申請をしないと活用できないスキームでありました。さらに、本予算については例年比較的余裕がある事も県担当課にて確認できました。

この調査事項を基に、平成29年度6月議会で一般質問に立ち、高齢化の中ご苦労をされている地域の方々の為に「海岸漂着物地域対策推進事業費」を県に申請し、平成30年度より、地元地域の要望に沿って、福井県が管理する海岸の漂着ゴミの清掃・処理を敦賀市として支援すべきと迫りました。

結果、平成30年度より敦賀市として支援していくとの明確な答弁があり、現在敦賀市として具体的なスキームを作っております。またこの議論につきましては新聞記事にも取り上げて頂きました。美しい敦賀市の海岸線を絶対に次の世代にも繋げていくことが重要と存じます。



今後への想い

＝安心、安全な街づくり＝

・市民の皆様が今後も敦賀市で安心・安全に住める為にも、自然災害に強い街づくりを進めていきたい。道路・橋・港湾等の社会インフラをより一層強固に整備・補修を進める政策を推進し、市民の皆様が安心して愛する家族と敦賀市に住め、社会活動・経済活動に取組めるようにしていきたい。

＝敦賀っ子がしっかり学べる教育環境の維持＝

・少子高齢化社会が進み、益々未来の敦賀を担う子どもたちは社会の宝であり、大切に育てていかねばなりません。特に現在敦賀市においては、先方のご苦労もあり、義務教育の学力水準は全国的に見ても非常に高いレベルであります。今後、この水準を維持するためにも、少子化が進むからといって教員数を減らすのではなく、人・子どもたちに投資をしていくことが重要です。最低限、現在子どもたちが学んでいる教育環境を維持していくように、しっかりと活動していきたい。

＝敦賀の発信力向上＝

・私たちの街、敦賀市には本当に誇れる歴史・伝統・文化・自然・食があり、他市からも羨ましがられる状況です。この恵まれている環境をしっかりと活用する街づくりをして、発信をしていくことが今後においてとても重要であると考えます。近年のSNS等の技術発展により全国・世界に発信をする媒体は多数あり、コンテンツを磨き、戦略的に発信を続ければ約5年後に開通する北陸新幹線で更なる賑わいを作れる事になると思います。どのようなコンテンツでどう発信をしていくか行政としっかりと議論をしていきたい。

▶ 北陸新幹線敦賀駅開業に向けてのまちづくり

敦賀市のメインストリートであり、敦賀駅から観光拠点への重要な道路である国道8号白銀～氣比神宮前交差点区間で「賑わいを作りやすい空間活用整備」への重要性を強く訴え、市民の心の拠り所である氣比神宮に正面の大鳥居から参拝しやすい街づくりを進めるべく取り組んで参りました。

地元有志の方々と「中心市街地活性化準備委員会」を立ち上げ議論を重ね、平成27年12月に市長へ直接要望書を提出しました。また、議場でも一般質問を通して強く訴えました。

現在、このような取り組みも市長に認められ、予算も付き、行政と地元地域の方々で整備に向けての具体的な話し合いがされ、詳細設計の段階にきております。本件に関して、議会での一般質問に5回立たせて頂き、市民の方々から頂戴しましたご提案等を織り交ぜ、行政と議論して参りました。北陸新幹線敦賀駅開業に向けて、今後も敦賀のメインストリートがより市民の皆様の誇りになるような整備とソフト面の充実が図れるようにしっかりと取り組んでいきます。



▶ 自主通学困難地区から中学校へのスクールバス運行

本市では中学生の通学距離に関しまして、おおむね6キロが適正であるという基準があります。しかし6キロ以上の通学距離があり、また非常に危険な道路を通らなければならないにも関わらず、スクールバスの運行がない地域が東浦地区と東郷地区にありました。その為、通学に保護者の方が毎日送り迎えしなくてはならない状況であり、相当な負担になっているとのお声を頂きました。

新しくスクールバス運行となると新しい予算が必要になってきますが、私なりに様々な調査させて頂く中で、ある一定の条件（バスを活用する生徒10名以上）を満たせばスクールバス運行費は普通交付税の対象になることが分かり、財源の提案とセットでスクールバス新規運行を議会一般質問の場で行政に迫りました。

結果、提言が認められる形で平成29年度4月より東浦地区、東郷地区の通学困難地域から角鹿中学校までのスクールバスが新規運行開始となりました。私も子育て真っ最中であり、子育て世代の方々のご負担を少しでも緩和して行く事が、これから更に進む少子高齢化社会において重要と感じております。



その他の取り組み（一部）

- **ふるさと納税を活用して防災用頭巾を市内全小学生へ配布すべきと提言**
・子供達の安全を守る取り組みを継続していきます。
- **地元事業者の市内除雪に対する市の支払い条件の適正化（4月末一括→50万円以上ごと）**
・平成28年度より実施済み。
・地元事業者様が経営しやすい環境を整えていきます。
- **市道点字ブロックの補修**
・障害者福祉の向上を目指していきます。
- **市内学童クラブの施設の改善（南第二児童クラブ・栗野児童クラブ）**
・子供達の教育環境を改善していきます。
- **敦賀市観光力向上の為、観光協会への人員増強を提言**
・若手職員1名人員増加（平成29年度）

※敦賀市をより良い街にしていく為には、民間+行政+議会が力を合わせ建設的な議論をしていかなければならないと強く感じる中で、議員として様々なサポートを頂いておりますのでしっかりと勉強し研究し行動して参ります。